

平成29年度スポーツ関係事業の 検証及び今後の取組方針について

- ① 地域のプロスポーツクラブ等交流連携事業
- ② スポーツ医科学講座開催事業
- ③ 全国高等学校カーリング選手権大会開催事業
- ④ スポーツ賞表彰事業
- ⑤ スポーツ指導者育成支援事業

事業検証シート

事務名		地域のプロスポーツクラブ等交流連携事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業目的		国内トップレベルの競技力を誇る地域のプロスポーツクラブ等と連携し、本市の小・中学生がトップアスリートと交流する機会を提供することにより、スポーツへの関心や参加意欲を高めるとともに、地域のプロスポーツクラブ等の活動を支援することで、市民が高い競技水準のスポーツを観戦できる機会の充実につなげます。		
		事業内容	実施状況	事業費
事業内容・実施状況	H28			【予算】 千円
				【決算】 千円
	H29	プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」選手による学校訪問及び「青森ワッツ」への広報支援	<ul style="list-style-type: none"> ■学校訪問 (H30.1月末現在) ・ラインメール青森：4校 (部活動訪問1校、講演会3校) ・青森ワッツ：2校 (部活動訪問2校) 	【予算】 500千円
		青森市を本拠地とするサッカーチーム「ラインメール青森FC」選手による学校訪問及び「ラインメール青森FC」への広報支援	<ul style="list-style-type: none"> ■広報活動 ・市HPへのチーム情報の掲載 ・市内小・中学校へ各チームの試合情報や試合への無料招待券(各チーム提供)を配布 など 	【決算】 — 千円
課題		<p>学校訪問について、チームの練習、試合等により、学校の希望日時と調整がつかず、未実施となった学校があったため、各チーム及び学校と密に連携を図る必要があります。</p> <p>広報活動については、各チームの知名度向上のため、市民へ各チームの活動情報等を積極的に周知していく必要があります。</p>		
今後の取組方針		<p>学校訪問については、本事業の効果を各小・中学校へPRすることで、活発に学校訪問が行われるよう取り組むとともに、各チーム及び学校と密に連携を図ることで、日程調整が円滑に行われるよう取り組みます。</p> <p>広報活動については、地域のプロスポーツチームの選手等と交流できる機会を増やすなど、市民が積極的に応援できるよう取り組みます。</p>		

事業検証シート

事務名		スポーツ医科学講座開催事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業目的		子どもが安全に安心して学校体育活動に取り組めるよう、子どものスポーツ事故やスポーツ傷害の防止を目的に、小・中学生のスポーツ指導者等を対象にスポーツ医科学や指導方法など指導に関する知識の普及啓発及び資質の向上を図ります。		
		事業内容	実施状況	事業費
事業内容・実施状況	H28	スポーツドクター及びスポーツ指導者による講演会の開催	■スポーツ医科学講座 ○日 時：平成 28 年 11 月 12 日（土） ○会 場：青森市教育研修センター ○講 師：小松 尚（スポーツドクター） 黒田 剛（青森山田高等学校サッカー部監督） ○対象者：小中学校教職員、各競技団体関係者 等 ○内 容：スポーツ外来における障害と外傷経験に基づく子どもたちへの指導・育成論 ○参集人員：94 人	【予算】 57 千円
			【決算】 36 千円	
	H29	スポーツ指導者及び現役Jリーガー等によるサッカー教室及びシンポジウムの開催	■青森山田高等学校サッカー部によるサッカー教室 ○日 時：平成 29 年 11 月 12 日（日） ○場 所：青森山田高等学校 サッカーグラウンド ○講 師：黒田 剛（青森山田高等学校サッカー部監督） 高橋 孝晟（Jリーグ・ジェフユナイテッド市原・千葉所属）等 ○対象者：市内小学生・市内サッカー指導者 ○内 容：子どもたちへの実技指導+指導者に向けた練習の解説等	【予算】 1,097 千円
			■スポーツ医科学シンポジウム ○日 時：平成 29 年 11 月 12 日（日） ○場 所：青森国際ホテル 萬葉の間 ○対象者：スポーツ指導者等 ○講 師：黒田 剛、仁志 敏久（元プロ野球選手・現野球 12U（小学生以下）代表監督）、小松 尚（スポーツドクター）等 ○内 容：「幼少期からの正しいトレーニング方法」、「怪我をしない体づくり」等 ○参集人員：300 人	【決算】 一 千円
課題	事業参加者からは好評ですが、単発の講座であるため、更に知識を深めるためには、年間を通じた継続的な講習会の開催等も必要と考えます。			
今後の取組方針	本事業の効果を更に高めるために、年間を通して継続的に実施できる内容等を検討していきます。			

事業検証シート

事務名		全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業目的		若手選手の競技力向上及びカーリング人口の裾野拡大を図るため、全国高等学校カーリング選手権大会を開催します。		
		事業内容	実施状況	事業費
事業内容・実施状況	H28	<p>全国高等学校カーリング選手権大会を開催</p> <p>○参加チーム (北海道、東北、関東中部、西日本、開催地ブロック)</p> <p>○大会内容 出場チームによる競技大会、選手間の交流やトレーニングを目的とした合宿</p>	<p>■12回全国高等学校カーリング選手権大会</p> <p>○日程：平成29年2月9日～12日</p> <p>○会場：みちぎんどリームスタジアム（青森市スポーツ会館）等</p> <p>○運営：全国高等学校カーリング選手権大会実行委員会</p> <p>○参加チーム</p> <p>(1)男子の部(5チーム・23人) 北海道選抜、南富良野高等学校、常呂高等学校、軽井沢高等学校、青森・西日本合同</p> <p>(2)女子の部(5チーム・22人) 南富良野高等学校、常呂高等学校、青森県選抜、長野県選抜、青森明の星高等学校</p> <p>○結果</p> <p>■男子優勝：北海道選抜 準優勝：軽井沢高等学校</p> <p>■女子優勝：長野県選抜 準優勝：常呂高等学校</p>	<p>【予算】</p> <p style="text-align: right;">1,513千円</p> <p>【決算】</p> <p style="text-align: right;">1,513千円</p>
	H29	<p>全国高等学校カーリング選手権大会を開催</p> <p>○参加チーム (北海道、東北、関東中部、西日本、開催地ブロック)</p> <p>○大会内容 出場チームによる競技大会、選手間の交流やトレーニングを目的とした合宿</p> <p>○カーリング教室（小学生対象）</p>	<p>■13回全国高等学校カーリング選手権大会</p> <p>○日程：平成30年2月9日～12日</p> <p>○会場：みちぎんどリームスタジアム等</p> <p>○運営：全国高等学校カーリング選手権大会実行委員会</p> <p>○参加チーム</p> <p>(1)男子の部(5チーム・25人) 北海道選抜、南富良野高等学校、東北選抜、長野県選抜、青森県選抜</p> <p>(2)女子の部(5チーム・21人) 北海道選抜、南富良野高等学校、青森明の星高等学校、長野県選抜、青森県選抜</p> <p>■カーリング教室</p> <p>・日時：平成29年12月15日（金）</p> <p>・会場：みちぎんどリームスタジアム</p> <p>・参集人員：56人（浪打小6年生）</p>	<p>【予算】</p> <p style="text-align: right;">1,513千円</p> <p>【決算】</p> <p style="text-align: right;">—千円</p>
課題		近年は、本市のほかには北海道、長野県からの参加であり、今後は、全国から選手が参加できるよう日本カーリング協会等の関係機関と連携し、より一層注目度の高い大会となるよう取り組んでいく必要があります。		
今後の取組方針		本市における若年層のカーリングへの興味・関心を高めるとともに、カーリングの競技力の向上を目的に、本市の小・中学校と連携し、カーリング教室の実施や大会当日の試合観戦への招待などの取組を実施するなど、本大会をより一層盛り上げる取組を検討していきます。		

事業検証シート

事務名		スポーツ賞表彰事業	担当課	文化スポーツ振興課	
事業目的		スポーツ部門における大会等において優秀な成績を収めた方及びその指導者を表彰し、競技意欲の向上を図ります。			
		事業内容	実施状況	事業費	
事業内容・実施状況	H28	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰対象 □スポーツ賞 国際規模の大会において優れた評価を受けた者又はこれに準ずる者 □スポーツ奨励賞 全国規模の大会において、優勝、準優勝又は第三位の成績を収めたもの、又は東北規模の大会において、優勝の成績を収めたもの □スポーツ指導者賞 国際規模の大会において優秀な成績を収めたもの又はこれに準ずるものの指導者 全国規模の大会において優勝の成績を収めたものの指導者 ■激励金 □小・中学生国際大会参加激励金交付事業 文化の国際大会等に出場する市内在住又は市内の学校に在学している小・中学生に対し、1人1万円の激励金を交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰式 ・日時 平成29年2月7日(火) ・会場 ホテル青森 ■受賞者数 ・スポーツ賞 6名 ・スポーツ奨励賞 96名 18団体 ・スポーツ指導者賞 2名 	<p style="text-align: right;">【予算】</p> <p style="text-align: right;">602千円</p> <p style="text-align: right;">【決算】</p> <p style="text-align: right;">488千円</p>	
	H29	H28年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰式 ・日時 平成30年1月25日(木) ・会場 ホテル青森 ■受賞者数 ・スポーツ賞 5名 1団体 ・スポーツ奨励賞 76名 16団体 ・スポーツ指導者賞 5名 	<p style="text-align: right;">【予算】</p> <p style="text-align: right;">685千円</p> <p style="text-align: right;">【決算】</p> <p style="text-align: right;">—千円</p>	
	課題		なし		
	今後の取組方針		市民のスポーツ活動の推進を図るため、スポーツにおける大会において優秀な成績を収めた方及びその指導者の表彰を継続します。		

事業検証シート

事務名		スポーツ指導者育成支援事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業目的		<p>スポーツ・レクリエーション活動促進の環境づくりの一環として、地域のスポーツ指導者を発掘・育成するため、(公財)日本体育協会公認のスポーツ指導員の資格取得に要する経費のうち、受講料相当額を支援します。</p>		
		事業内容	実施状況	事業費
事業内容 ・ 実施 状況	H28	○スポーツ指導員の資格取得にかかる受講料を支援	■実績 スポーツ指導員 8名 【内訳】 カーリング2名、 ハンドボール1名 ゲートボール2名 テニス3名	【予算】 432千円
				【決算】 211千円
	H29	○スポーツ指導員の資格取得にかかる受講料を支援	■実績 スポーツ指導員 7名 【内訳】 ソフトテニス1名 弓道6名予定	【予算】 432千円
				【決算】 ー 千円
課題		<p>市全体の競技力の向上を図り、国際大会やプロスポーツレベルの選手を育成していくためには、優秀な指導者の確保が不可欠であり、指導者の発掘・育成に取り組む必要があります。 しかし、当該事業においては、年度ごとの助成者の増減が大きく、安定的に指導者の発掘・育成が図られていない状況にあります。</p>		
今後の取組方針		<p>指導者を育成することで、幅広い世代がより質の高いスポーツ活動に取り組むことができ、本市の競技力の向上に直接つながることから、当該事業を広く周知することで、資格取得を通じた資質向上への意欲を高めるなど、今後も当該事業を継続し、優秀な指導者の発掘・育成・確保に取り組めます。</p>		